

令和8年度

「運営に関する計画」

(案)

大阪市立天満中学校

令和8年4月

教育目標

「自学・自律・思いやり」
～誰ひとり取り残さない教育活動の推進～

～めざす子ども像～

0 から 1 を創り出す挑戦心と、レジリエンスを備えた生徒
多様な個性を認め合いながら、他者に必要とされる生徒

【安全・安心な教育の推進】

- ① 清潔感のある身だしなみと身の回りの整理整頓を通して、前向きになれる環境作りをする。
- ② 基本的な生活習慣を身につけさせ、健康的な生活の基盤を形成する。
- ③ 多様性を認め合える関係づくりを推進する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 個別最適な学びと協働的な学びをとおして、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ② キャリア教育の充実や地域の教育力を活用し、人間性を育み、自ら生き方を選択できるようにする。
- ③ 自由進度学習を取り入れ学び方を身につけさせる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ② ICT 機器を活用した学習活動を推進する。
- ② 多様な学びの場を設置し、効果的に運営する。
- ③ 持続可能な組織体制を構築する。

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【安全・安心な教育の推進】**

- 昨年度も学校・家庭・地域が連携し学習環境の整備や教育活動を行うことができ、各教科で主体的・対話的で深い学びをめざした授業作りに取り組むことができた。これらの状況をより良い状態で維持し、学校・家庭・地域はもとより、関係諸機関や各地域の方々とも連携を密にし、生徒の変化に迅速に対応し、問題を解決できるような体制の構築を進め、子どもが「安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現」と「誰一人取り残さない教育活動」の推進を行う。
- 生徒があいさつを自発的に行うことができるようになり、また、規範意識も高まりつつあり、令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「あいさつや礼儀、服装を正すなど、学校や社会のルールを守ろうと努力している」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は98.6%であった。
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「いじめや暴力などのトラブルには、時には先生なども交えながら、問題の解決を図っている」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は94.1%である。また、令和7年度末の「保護者アンケート」において、「学校は、子どもたちが学校生活や友達関係などで困ったり悩んだりしているとき、相談できる機会や体制を整えている」の項目に、肯定的な回答をした保護者の割合は86.1%である。生徒、保護者からの否定的回答に対し、いかに対応していくかを課題としたい。
- 本校における大きな課題が、不登校生徒の増加であり、支援策として令和6年度から「School “0”」を立ち上げた。さらに支援の方法や内容・人員の配置・予算等を検討し持続して行える取組にするため、大阪市のSSR（スペシャルサポートルーム）支援事業の認定を受けた。今後、関係諸機関や校内人材（SC,SSW等）との連携もさらに進める必要がある。
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「道徳・人権学習を通じて、命の大切さや自他を尊重し互いを思いやる心が養えていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は94.8%である。
- 大きな自然災害が発生した時の「命の安全」や地域の方との「協働」において視点を置くことで、防災意識をより一層深める必要がある。区役所や消防署、地域の方との連携強化や、校内での防災訓練等により生徒個々の防災意識を高めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査や大阪府チャレンジテストなど、各調査での平均正答率が大阪市、全国の平均を上回るなど成果があがっている。
- 令和7年度末の調査で、中学校卒業段階で英検3級程度以上（GTECスコア360以上）の英語力を有する生徒の割合が83%であった。
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業はおおむねわかりやすいと思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合は92.6%である。これらの数値をこれからも持続し、さらに改善することが、「自学・自律・思いやり」を育むことにあたり、今後取り組むべき課題である。
- 令和7年度の体力合計点（本校男女平均）が50.55に対し、大阪市平均（44.92）、全国平均（44.99）を上回る結果となっている。学校行事や部活動も活発に行うことで、天満中学校らしい活動を発展させることができた。体力・運動能力向上におおいに影響を与えている。

現状と課題

【学びを支える教育環境の充実】

- 日々の授業においては、生徒が学習者用端末を用い、教員と生徒の双方向通信を利用することで新たな学びの形を構築することができ、また、授業研修週間を3期設け、教員相互が語り合う協働的な研修も行うことができている。生徒が主体的に学ぶために、各自が目標を設定し自ら学び方を決定するなど、各教科の単元の一部に自由進度学習を取り入れていく。
- 学校業務の責任の所在を明確化し業務分担の偏りを是正することで、教職員の長時間勤務の解消につなげる。教職員が子どもたち一人一人に向き合う時間を確保するとともに、教職員の Well-being の向上をめざす。
- 令和7年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合は73.2%で、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」と答えた生徒の割合は65.9%である。読書習慣を身につけ、豊かな発想や多角的な視点を育みたい。
- コミュニティースクール事業（学校元気アップ地域本部）が中心となり、テスト前土曜学習会や3年生ブラッシュアップ学習会、懇談時の学習会を実施し、子どもたちの自主学習支援を行ってきた。学びサポーターや学習ボランティア等の人材を継続的に確保することが事業を運営する上での今後の課題である。
- 本校の課題である不登校生徒支援については、校務分掌に個別支援教育部を創設し、子どもの居場所づくりとして「SCHOOL”0”」を運営する。教室に入りにくい生徒だけでなく、学校に来にくい生徒へのサポートも「さくら class」や「中崎クラス」など校外の施設を活用する。学校全体で不登校生徒に関わり、対人スキルの向上や学習支援に取り組んでいく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を97%以上にする。
(R5:98.1%・R6:96.7%・R7:96.5%)
- 令和11年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を10%未満にする。
(R5:11.5%・R6:14%・R7:13%)
- 令和11年度末の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を35%以上にする。
(R5:29%・R6:63%・R7:20%)
- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」における、「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起こったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。
(R5:91.7%・R6:91.8%・R7:93.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。
(31期生の結果:国語→前年度比+1.1ポイント、数学→前年度比-0.1ポイント)
- 令和11年度末の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。
(R5:75.8%・R6:64.15%・R7:71.9%)

- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。**(新規)**
- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」において、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を75%以上とする。**(R5:72.3%・R6:67.9%・R7:73.2%)**
- 令和11年度末「校内生徒アンケート」において、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。**(新規)**
- 令和11年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点(男女平均)大阪市平均を上回る結果とする。

R7の結果

体力合計点	男子	女子	平均
全国	42.40	47.58	44.99
大阪市	41.69	48.14	44.92
天満中	43.57	57.53	50.55

【学びを支える教育環境の充実】

「大阪市教育振興計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標」

- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業で学習者用端末をどの程度使用したか」に対して週3回以上と回答する生徒の割合を80%以上にする。**(新規)**
- 令和11年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を70%以上とする。**(R5:68%・R6:63%・R7:65.9%)**
- 令和11年度末の教員の時間外勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を75%以上にする。**(R7:71%)**

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興計画に揚げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を97%以上にする。

(R5:98.1%・R6:96.7%・R7:96.5%)

- 令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を12%未満にする。

(R5:11.5%・R6:14%・R7:13%)

- 令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を25%以上にする。

(R5:29%・R6:63%・R7:20%)

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」において、「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起こったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。

(R5:91.7%・R6:91.8%・R7:93.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興計画に揚げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。

(31期生の結果:国語→前年度比+1.1ポイント、数学→前年度比-0.1ポイント)

- 令和8年度末の大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。

(R5:75.8%・R6:64.15%・R7:71.9%)

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を45%以上にする。**(新規)**

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」における、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を75%以上とする。**(R5:72.3%・R6:67.9%・R7:73.2%)**

- 令和8年度末「校内生徒アンケート」において、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。**(新規)**

- 令和8年度末「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点（男女平均）の大阪市平均を上回る結果とする。

R7の結果

体力合計点	男子	女子	平均
全国	42.40	47.58	44.99
大阪市	41.69	48.14	44.92
天満中	43.57	57.53	50.55

【学びを支える教育環境の充実】

「大阪市教育振興計画に揚げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業で学習者用端末をどの程度使用したか」に対して週3回以上と回答する生徒の割合を70%以上にする。**(新規)**

- 令和8年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を67%以上とする。

(R5:68%・R6:63%・R7:65.9)

- 令和8年度末の教員の時間外勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を72%以上にする。

(R7:71%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立天満中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標」</p> <p>○令和8年度末の「校内生徒アンケート」における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を97%以上にする。 (R5:98.1%・R6:96.7%・R7:96.5%)</p> <p>○令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を12%未満にする。 (R5:11.5%・R6:14%・R7:13%)</p> <p>○令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を25%以上にする。 (R5:29%・R6:63%・R7:20%)</p> <p>○令和8年度末の「校内生徒アンケート」において、「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起こったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。 (R5:91.7%・R6:91.8%・R7:93.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1-1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめ対策マニュアル」に基づき、「1週間を振り返って」を実施する。また、生徒用学習者用端末の「相談機能」・「心の天気」を利用し生徒の状況把握を行うとともに、教員のいじめに関する研修を行い、いじめの未然防止と早期解決に努める。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な生徒の割合を97%以上にする。(R7:96.5%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1-2 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>個別支援教育部を中心に不登校生徒の状況を把握分析し、SC、SSWや関係諸機関との連携を行い、学校全体で課題解決に取り組む。</p> <p>指標 年度末の校内調査において、年間90日以上欠席する生徒の割合を前年度より減少させる。(R7:6.6%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1-5 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害に備えた訓練を計画的に実施する。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」における「日々の避難訓練や震災学習等により、地震や火事が起こったとき、適切な行動がとれると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を95%以上とする。(R7:93.1%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
後期への改善点	

大阪市立天満中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標 (施策目標) を達成するための年度目標」</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。 (31期生の結果: 国語→前年度比+1.1ポイント、数学→前年度比-0.1ポイント)</p> <p>○令和 8 年度末の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を70%以上にする。 (R5: 75.8%・R6: 64.15%・R7: 71.9%)</p> <p>○令和 8 年度末の「校内生徒アンケート」における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、<u>新たな考えに気付いたり</u>することができている」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を45%以上にする。(新規)</p> <p>○令和 8 年度末の「校内生徒アンケート」における、「学校の宿題以外に、予習・復習・問題集に取り組むなどの家庭学習を行っている」と肯定的な回答をした生徒の割合を75%以上とする。(R5: 72.3%・R6: 67.9%・R7: 73.2%)</p> <p>○令和 8 年度末「校内生徒アンケート」において、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは<u>大切ですか</u>」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上とする。(新規)</p> <p>○令和 8 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点(男女平均)の大阪市平均を上回る結果とする。</p> <p style="text-align: center;">R7 の結果</p> <table border="1" data-bbox="788 1111 1334 1290"> <thead> <tr> <th>体力合計点</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>42.40</td> <td>47.58</td> <td>44.99</td> </tr> <tr> <td>大阪市</td> <td>41.69</td> <td>48.14</td> <td>44.92</td> </tr> <tr> <td>天満中</td> <td>43.57</td> <td>57.53</td> <td>50.55</td> </tr> </tbody> </table>	体力合計点	男子	女子	平均	全国	42.40	47.58	44.99	大阪市	41.69	48.14	44.92	天満中	43.57	57.53	50.55	
体力合計点	男子	女子	平均														
全国	42.40	47.58	44.99														
大阪市	41.69	48.14	44.92														
天満中	43.57	57.53	50.55														

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 - 1 言語活動・理数教育の充実】</p> <p>各教科等の学習を支える言語活動を計画的・系統的に育成するため、学校行事や各学年の取組に総合的な言語活動を取り入れる。</p> <p>指標 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント以上向上させる。(31 期生: 国語→前年度比+1.1 ポイント、数学→前年度比-0.1 ポイント)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 - 2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>生徒が主体的に学ぶために、各自が目標を設定し自ら学び方を決定するなど、各教科の単元の一部に自由進度学習を取り入れていく。</p> <p>指標 年度末の校内生徒アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、<u>新たな考えに気付いたり</u>することができていますか」に対して、「とても思う」と回答する生徒の割合を 45%以上にする。(R7: 44.3%)</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向4-3 英語教育の強化】 生徒の豊かな語学力・コミュニケーション能力等を育成するために、英語教育の充実を図る。</p>	
<p>指標 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。(R7:71.9%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】 体育的な学校行事や学年行事を計画的に行い、生徒を中心に活発に活動ができるようにする。</p>	
<p>指標 今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点(男女平均)の大阪市平均を上回る結果とする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

大阪市立天満中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>「大阪市教育振興計画に掲げる目標 (施策目標) を達成するための年度目標」</p> <p>○令和 8 年度末の「校内生徒アンケート」において、「授業で学習者用端末をどの程度使用したか」に対して週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。 (新規)</p> <p>○令和 8 年度末の「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 67%以上とする。 (R5:68%・R6:63%・R7:65.9%)</p> <p>○令和 8 年度末の教員の時間外勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を 72%以上にする。 (R7:71%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	達成状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6 - 1 ICTを活用した教育の推進】 ICT 機器や学習者用端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを取り入れた授業づくりに取り組む。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」において、「授業で学習者用端末をどの程度使用したか」に対して週 3 回以上と回答する生徒の割合を 70%以上にする。 (新規)</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 7 - 1 働き方改革の推進】 業務分担を明確にし、負担軽減に取り組み、長時間勤務の解消を図る。</p> <p>指標 教員の時間外勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を 72%以上にする。 (R7:71%)</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 8 - 3 学校図書館の活性化】 朝の読書活動や図書館開放を通じて、本に親しみを持ちながら読書習慣をつけるとともに落ち着いて授業に臨む態度を育てる。</p> <p>指標 「校内生徒アンケート」において、「朝読書や図書館の利用等で、読書の習慣がついてきていると思う」の項目に、肯定的な回答をした生徒の割合を 67%以上とする。 (R7:65.9%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
後期への改善点	